



学校と地域との協働で子どもを育てる

去る11月24日(火)で今年度のクラブ活動が終わりました。今年度は、4つのクラブに地域の方が講師となってくださり、専門的なご指導をいただくことができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

卓球クラブでは、打ち方など初歩的な段階から山岸さんが丁寧に教えてくださり、回を追うごとにラリーが続くようになって、卓球を楽しんでいました。バスケット・サッカークラブでは、牧さんや小森さんも子どもたちに交じってゲームに参加され、子どもたちに攻守の動き方を教えてくださりました。手芸クラブでは三輪さん、梅澤さんが個別に用具の使い方や縫い方を教えてくださり、子ども達はスムーズに活動が進められました。クラフト工作クラブでは、坂田さんが作り方や工夫の仕方などを教えてくださり、子どもたちは夢中になって作品を作っていました。



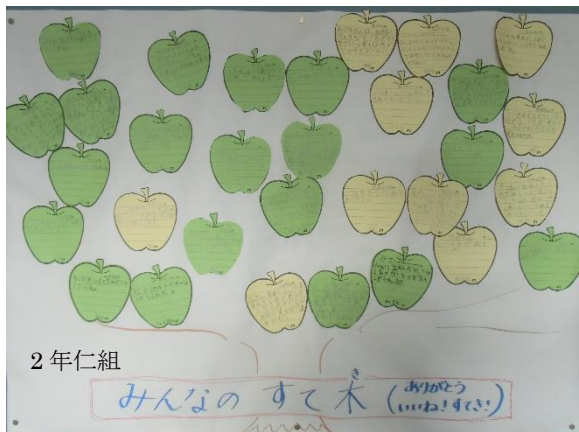
今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域の方と学ぶ機会が例年通りにはとれませんでした。クラブ活動の他にも、放課後学習室では寺林さんに学習の支援をしていただいたり、5年生の峰の高原学校では篠塚さんが根子岳登山に同行してくださったり、6年生は花いちもんめの皆様と花壇づくりをしたりしました。作物の栽培では、学校近くの竹前さんから畑をお借りし、さつまいもや大豆を育てました。4年生では篠塚さんから頂いた小麦の種を青木さんの畑にまき、一緒に栽培をしてきました。その他にも、多くの地域の皆様が子どもの安全や教育活動を支えてくださり、感謝の気持ちでいっぱいです。

このような地域との協働を進めていく上で、学校と地域がもつ願いや期待を共有していきたいと考え、先日のコミュニティスクール学校運営委員会では、北信教育事務所生涯学習課指導主事岡田絵美先生を講師にお迎えして「熟議」を行いました。「熟議」では、学校と地域でどのような子どもを育てたいかを語り合い、「仁礼地区のことを誇りに感じたり、仁礼のことを語れたりする子ども」「仁礼小ならではの学びをしてほしい」など、それぞれの立場から熱い思いや期待をうかがうことができました。熟議でうかがったことを基盤としながら、今後は今まで以上に地域との連携活動を進めていきたいと思っております。



人権教育月間（なかよし月間）を終えて

11月は人権教育月間（なかよし月間）でした。この1ヶ月間、各学年では、いじめや差別のいけなさ、自分や友だちのよさについて学んできました。新型コロナウイルス感染症にかかった人やその家族に対する不当な差別や偏見が社会問題になっており、その問題について動画資料などで学んだ学年もあります。患者の皆さんが一日でも早く良くなるように祈ること、思いやりをもって接することが大切だと思います。ご家庭からもお話をしていただけるとありがたいです。他の学習として、自分のよさを友だちに認めてもらったり、友だちへありがたうの気持ちを表したりしたものを一部掲載します。



人権教育月間は終わりましたが、今後もさまざまな人権問題について、資料を使って学習をしたり、学級など身近な問題について考え合ったり、互いを認め合う活動をしたりしていきたいと思っています。

学校ホームページの紹介

新型コロナウイルスの感染はまだ収まりません。今後も感染拡大防止の対応を学校でも各家庭でも引き続き行っていく必要があります。よろしくお願いたします。

先週より、仁礼小学校のホームページに「保健室より」というコーナーを作りました。保健室からの通知や各種提出書類（下記参照）を載

せます。ご覧いただき、ご活用ください。（各種提出書類はダウンロードしてお使いください）

○インフルエンザ治癒報告書（2020～）

○登校証明書（2020～）

○健康チェックカード（表）（2020～）

○健康チェックカード（裏）（2020～）



メールシステムの変更について

これまで各家庭への連絡で使っていたメールシステムは、回線が込み合うとメールの遅延が発生したり、緊急時において家庭からの既読確認ができなかったりする支障があり、来年度からオクレンジャーというシステムに変えることを考えています。メリットとしては、回線が安定していること、個別にメールを送ったり返信をいただいたりすることができること、添付ファイルがつけられることなどです。デメリットとしては、今のシステムは無料なのに対して、オクレンジャーは毎年料金がかかるということです。料金については、PTA 資源回収で得たお金から支出することを考えています。メールシステム変更について理評会では承認されていますが、この件についてご質問、ご意見がありましたら、仁礼小 教頭までご連絡ください。